



いきものふれあいの里

「陶史の森」 だより

土岐市ネイチャーセンター ☎ 5144

たくましく生きるオオバコ

私たちの身の回りには、嫌というほど踏まれて育っている植物があります。それは『オオバコ』です。漢名の『車前草』は「車の通るところに多い草」という意味で、実際に、人があまり通らない所には生えていません。

オオバコの花の茎を使って綱引きをすると、とても丈夫だということが分かるでしょう（写真1）。茎の中は柔らかいけれど、外側は強くなっています。また、葉を手で引くと張ると筋が現れます（写真2）。葉の柔らかいところは破れても、栄養や水分を送っている丈夫な筋はなかなか切れません。オオバコは剛と柔を併せ持っているおかげで、人に踏まれることの多い所でも成長でき、背が高くなる植物に太陽を奪われることがないのです。

さらに、種が熟してくると、雨が降った後に種からゼリー状のものを出し、人の靴の裏などにちゃっかりとくっついて、別の場所に運んでもらいます。二十四節季でいう芒種ぼうしゅの季節、オオバコも知恵を絞って種まきをしています。

森の日記

ギフチョウの観察会 4月3日(日)

今年の観察会も、東京をはじめ、市内外から約40人が参加されました。陶史の森で、昨年から人工飼育してきたギフチョウを『蝶の館』に放ち、参加者は自然観察指導員の説明を受けた後、『春の女神』を熱心に撮影していました。昨年の5月から飼育していた幼虫のうち約6割が羽化し、陶史の森を舞いました。



羊の毛刈り 4月15日(金)

今年は羊が1頭しかいなかったもので、毛刈り職人ではなく市農林課の職員が毛刈りを行いました。1年間しっかりと蓄えた純毛も、春を迎えてさっぱりと刈り取られ、これから訪れる暑さにも対応できそうです。羊舎も少し寂しくなりましたので、新たな羊の仲間入りを計画しています。楽しみに待っていてください。

教室のご案内

6月

- ホテル鑑賞会(自由参加)
6月11日(土)午後6時30分～9時
ホテルの生態を知り観察(雨天中止)
- ミツバチ教室(要申込)
6月19日(日)午前9時～11時30分
ミツバチのはちみつ搾りを体験(小雨決行)
- バードウォッチング(自由参加)
6月26日(日)午前9時～11時30分
夏の野鳥を観察(雨天中止)

7月

- 草花標本づくり教室(要申込)
7月3日(日)午前9時～11時30分
植物の採集・観察と標本作り
- 夏の天体教室(要申込)
7月23日(土)午後7時～9時
土星の観察(雨天中止)
- バードウォッチング(自由参加)
7月24日(日)午前9時～11時30分
夏の野鳥を観察(雨天中止)

陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴はご遠慮ください。